

独立行政法人国立がん研究センター理事会（平成 24 年度第 11 回）議事録

日 時 平成 25 年 3 月 29 日（金）10：00～11：45
場 所 独立行政法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 堀田知光理事長 佃和夫理事 末松誠理事 中釜斉理事 荒井保明理事
小野高史監事 長崎武彦監事

理事の再任について

- ・厚生労働省より佃和夫理事、末松誠理事の理事再任の通知が届いた旨の報告がなされた。

議事概要

I. 理事会（平成 24 年度第 10 回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を佃和人理事と長崎武彦監事をお願いした。

II. 報告事項

1. 第 2 回シンポジウム「今後の国立がん研究センターのあり方を考える」の開催について

- ・平成 25 年 4 月 15 日（月）に行われる第 2 回シンポジウム「今後の国立がん研究センターのあり方を考える」の開催について説明がなされた。参加者は前回同様に NCC の職員と来賓のみを対象とし、4 名のシンポジストの先生により行われることの報告がなされた。

2. 健康・医療戦略推進室の設置及び参与の会合について

- ・新しく内閣官房に発足した健康・医療戦略室の設置及び体制、他会議との連携体制等について説明がなされた。
- ・3 月 18 日に行われた第 1 回健康・医療戦略参与会合において、堀田理事長が行ったプレゼンテーションについて、報告がなされた。

3. 健康・医療戦略厚生労働省推進本部の設置について

- ・健康・医療戦略厚生労働省推進本部の体制及び今後の検討スケジュールの説明がなされた。

4. 年度末賞与について

- ・年度末賞与の支給要件、支給対象者、支給月額、支給日について報告がなされた。

5. 平成25年度の年度計画について
 - ・厚生労働省に提出する平成25年度の年度計画について説明がなされた。
 - ・平成25年度の運営費交付金、収支見込み、検討事項、対応策の報告がなされた。
 - ・費用増に対応する収益手段について、病床利用率をもって計画することについて意見があった。他、センター全体の人員配置の整合性、経費縮減対策も必要との意見があった。
6. 平成25年4月1日付組織改正について
 - ・早期・探索臨床研究センターの設置、企画戦略局の組織改正、中央病院(医療連携室の設置、アピアランス支援室の設置)、がん予防・検診研究センター副センター長の設置、がん対策情報センター(がんサバイバーシップ支援研究部及びがん政策科学研究部の設置)について報告がなされた。
 - ・事務部門の班長制から係長制への移行について報告がなされた。
7. 地域手当の見直しについて
 - ・柏地区における地域手当(医療研究連携加算)の見直しについての報告がなされた。
8. サポートイブケアプログラムアドバイザリーボードの結果について
 - ・平成25年3月4日東病院で行われた第1回サポートイブケアプログラムアドバイザリーボードについて、報告がなされた。
9. がん対策に関する世論調査の結果について
 - ・内閣府と連携して行われたがん対策に関する世論調査について、報告がなされた。
10. 研究費の不適正使用の処分及び調査について
 - ・研究費の私的流用に係る職員の懲戒処分について、報告がなされた。
11. 公的研究費の不正使用等の防止に関する取り組みについて
 - ・厚生労働省医政局からの「公的研究費の不正使用等の防止に関する取組について」の通知について、報告がなされた。
12. 会計検査院実施検査について
 - ・3月13日、14日、15日(研究費関係)に築地地区、15日柏地区において会計検査院の実施検査が行われた旨が報告された。
13. 研究費を財源とする物品・役務等の発注から納品について
 - ・平成25年度研究費執行手続きについて、研究者発注は原則廃止し、財務経理部で発注を実施するとの報告がなされた。
 - ・システム化が必要との意見があった。
14. 改正高齢者雇用安定法への対応について
 - ・職員組合との交渉に関して、報告がなされた。
15. 月次決算(2月分)について

- ・平成25年2月までの経営指標について、基本的に順調に推移していると報告がなされた。
- ・中央病院の緩和ケア加算の件数については、土日の件数も算定することに変更したため件数が増加したと報告がなされた。
- ・東病院については、順調に推移している。外来平均患者数、外来初診患者数、陽子線患者数はかなり増えていると報告がなされた。

Ⅲ. 審議事項

- ・特になし